

# エンゲージメントが簡単に

**storm® LINKオンデマンド一方向ビデオ診察: 往診の頻度を減らし、患者と臨床医の安全性を確保**

## 課題

Herts Urgent Care (HUC) は、イギリス東部の330万人以上のユーザーに対して、NHS 111コールセンターとかかりつけ医の時間外サービス(どちらもNHS緊急ケア対応に欠かせないサービス)を提供しています。実際のところ、電話サービスを利用する患者の約20%は直接診察を必要としていますが、対面診察では患者と臨床医の両方にコロナウイルス感染のリスクが発生します。

従来のかかりつけ医によるビデオ診察では、事前の予約が必要でした。しかしこれは、患者から緊急連絡が入り、相談に応じている途中でビデオ診察の必要性が明らかになるような急を要する状況には適していません。

HUCは、可能であれば対面診察に代えて、臨機応変に患者にビデオ診察を提案できるソリューションを求めていました。こうしたソリューションがあれば、コロナウイルス感染のリスクを最小限に抑え、在宅勤務中でも臨床医のプライバシーを維持することができます。

## ソリューション

HUCでは、臨床医が直接診察しなくても緊急を要する患者に対応できる方法を模索していました。Content Guruは、こうしたニーズに応えるため、**storm® LINK**オンデマンド一方向ビデオ診察アプリケーションを開発しました。臨床医は、診察の途中でもこの診察アプリケーションを立ち上げることができます。

患者が電話でHUCサービスに連絡すると、状況に応じて、ビデオ診察ができることが患者に通知されます。ビデオ診察を実施する場合、患者のはっきりとした同意が求められます。臨床医が**storm DTA**(デスクトップタスクアシスタント) ボタンを押すと、Web RTCリンク(リンクは1回のみ有効でビデオ診察後に破棄されます)が患者の電話に送信されます。患者がリンクをクリックすると、ビデオ診察が開始されます。患者と臨床医の双方とも、いつでもビデオ診察を終了することができます。ただし、この場合も、電話自体はつながったままとなります。

**storm LINK**オンデマンド一方向ビデオ診察は、NHSが求める臨床安全性やデータ保護の規約をすべて満たしており、現在、患者ケアの現場で日常的に利用されています。

## 利用者の声

「イギリスでは、新型コロナウイルスによるロックダウンが実施され、対面診察のリスクに対する恐怖心も増している中、電話による緊急医療サービスはかつてないほどポピュラーになっています。HUCのケアサービスにおけるひとつの現実的な選択肢としてビデオ診察を導入する必要がありました。これにより、人との接触を極力抑えながら、患者の診断を適切に行うことができます。」

「既にContent Guruと提携して**storm**プラットフォームを5年間使用してきた実績があったため、彼らなら新たなソリューションを提供してくれると確信していました。HUCの臨床医に対してビデオ診察を展開するチームの動きは迅速でした。このアプリケーションは非常に使いやすく、現在HUCで広く活用されています。」

HUC  
パフォーマンスおよびサービス担当ディレクター  
ジャニス・グリーンヒル氏

## ビジネスへの影響

- ・ 遠隔診療の診断の信頼性が向上し、患者を直接診察しなくても、容態を適切に管理することができます。
- ・ 対面診察の機会が減ることで、臨床医や患者のコロナウイルス感染のリスクが大幅に減少します。
- ・ 臨床医は、患者に直接会わなくても臨床評価が行え、在宅勤務中のプライバシーを保護することができます。
- ・ 問診に必要な物的リソースを削減できるため、サービスの運用経費を抑えることができます。
- ・ 幅広い**storm**プラットフォームの一部として機能する、使いやすいアプリケーションです。



## オンデマンドのビデオ診察の仕組み

- ・ビデオ診察が必要な場合、臨床医はデスクトップ画面のポータル(DTA)のボタンを押して、患者の電話にSMSテキストでリンクを送信します。必要に応じて、電子メールでリンクを(患者のタブレットデバイスなどに)送信することも可能です。
- ・患者がリンクをクリックすると、ビデオ診察が開始されます。Web RTCを介して、ビデオ通信が接続されます。AndroidまたはiOSのいずれのデバイスでも、ユーザーエクスペリエンスは同じです。
- ・リンクは1回限り有効です。再度使用することはできません。
- ・患者と臨床医の双方とも、いつでもビデオリンクを閉じることができます。ただしこの場合も、音声リンクは開いたままとなります。

